

# 助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2018年7月13日

事業ID:2016399376

事業名:教育魅力化プラットフォーム

団体名:(一財)地域・教育魅力化プラットフォーム

代表者名:水谷 智之 印

TEL: 0852-61-8866

事業完了日:2018年6月30日

## 1. 事業内容

### <県レベルでのシステム構築>

#### (1) 教育プログラムの開発

時期:7月(松江)、10月(大田)、3月(松江)

対象:島根県内の高校生51名、教職員・行政職員111名、大学生27名

内容:課題解決型学習の県大会等

#### (3) 子ども成長KPI、地域インパクト評価の開発 ※通年

対象:島根県内の高校生、高校教職員・行政職員

内容:評価の開発

### <全国へのスケールアウト>

#### (1) コレクティブチームの育成

時期:5月(海士町)、7月(海士町)、9月(大田)

対象:島根県内の高校教職員・行政職員 計244名

内容:研修等

#### (2) コーディネーターの育成 ※通年

対象:全国の行政職員・コーディネーター

内容:調査等

#### (3) マイプロジェクト甲子園の開催

時期:3月

対象:全国の高校生、高校教職員・コーディネーター

内容:課題解決型学習の全国大会

#### (4) 多様性ある学びの場の創出(越境留学の推進) ※通年

対象:全国の高校教職員・行政職員

内容:調査等

#### (5) 共学共創するネットワークの構築

時期:6月(東京)、11月(松江)  
対象:全国の高校教職員、行政職員 計261名  
内容:キックオフミーティング等

<その他>

- ① 海外提携先の開拓・先進地視察  
時期:5月(フィンランド)、2018年6月(ブータン)  
対象:島根県内の行政職員  
内容:視察
- ② 書籍発行(ノウハウ形式知化)  
時期:12月  
対象:全国の高校教職員・コーディネーター計50名  
内容:書籍の作成
- ③ プロモーションビデオ作成  
時期:4月  
対象:全国の高校教職員、行政職員、地域住民  
内容:ムービーの作成
- ④ ポータルサイト開設・運営 ※通年  
対象:全国の高校教職員、行政職員、地域住民  
内容:サイトの作成
- ⑤ 社会インパクト評価、ファンドレイズ ※通年  
対象:県内行政職員  
内容:評価手法の検討

2.事業内容詳細:

<県レベルでのシステム構築>

- (1) 教育プログラムの開発  
※資料2:しまねマイプロジェクトご案内参照
- (3) 子ども成長KPI、地域インパクト評価の開発  
※資料3:「地域・教育魅力化」評価システム参照

### <全国へのスケールアウト>

- (1) コレクティブチームの育成  
※資料4:教育魅力化チーム推進プログラム最終セッション参照
- (3) マイプロジェクト甲子園の開催  
※資料5:全国高校生マイプロジェクトアワード2017開催報告書参照
- (4) 多様性ある学びの場の創出(越境留学の推進)  
※資料6:地域みらい留学プレスリリース参照
- (5) 共学共創するネットワークの構築  
※資料7:社会に開かれた教育フォーラム参照

### 3. 契約時事業目標の達成状況:

#### <県レベルでのシステム構築>

- (1) 教育プログラムの開発  
全県展開可能な課題解決型学習や地域社会に開かれた学力育成プログラム等に関する開発・試行を行う→達成
- (3) 子ども成長KPI、地域インパクト評価の開発  
学校及び市町村における子どもの成長評価及び魅力化事業の学校及び地域へのインパクト評価を開発する→達成

#### <全国へのスケールアウト>

- (1) コレクティブチームの育成  
教員・コーディネィ・行政職員等がチームとなる合同研修の開発・試行を行う→達成
- (2) コーディネーターの育成  
コーディネーターの実態調査及び職域定義、育成、人材バンク、国・県レベルでの制度化のあり方を検討する→実態調査まで達成
- (3) マイプロジェクト甲子園の開催  
課題解決型学習の成果の全国的な舞台(評価・発信・相互学習)の場を開催する→達成
- (4) 多様性ある学びの場の創出(越境留学の推進)  
地方への越境留学、教育移住の市場開拓に向けたニーズ調査及びマーケティング戦略を策定する→達成

(5) 共学共創するネットワークの構築

全国の魅力化的な実践をしている地域の実態・ニーズ把握とキックオフミーティングを開催する→達成

<その他>

① 海外提携先の開拓・先進地視察

地域協働や課題解決型学習等に関する視察及び共学共創への提携先開拓、海外展開へのニーズ調査の実施をする→達成

② 書籍発行(ノウハウ形式知化)

魅力化のノウハウや事例を共有するための魅力化ガイドブックを作成し出版する→達成

③ プロモーションビデオ作成

弊団体の理念やビジョン等を伝える映像を作成する→達成

④ ポータルサイト開設・運営

弊団体の概要や取り組みを発信するとともにポータルサイトを作成する→達成

⑤ 社会インパクト評価、ファンドレイズ

弊団体の持続的なファンドレイジングに向けた本事業の社会的インパクト評価のあり方を開発する→達成

4.事業実施によって得られた成果:

高等学校改革による地域創生に向けて、県レベルでのシステム構築を実現すべく、以下の事業を重点的に行った。①子どもの成長の本質的な価値を可視化するための高校生向け課題解決型教育プログラムの開発、②教育を核とした取り組みの本質的な価値を可視化するための生徒の成長の評価・地域インパクト評価、③島根県内にて、高校魅力化を推進するセクターを超えた協働チーム(コレクティブチーム)の育成、④地域間でのノウハウ共有や協働を促進する共学共創のネットワークの構築に向けた各種イベントを実施し、島根県内で 16/19 市町村、21 高校が高校魅力化に取り組む成果を創出した。

また、次年度の本格的な全国へのスケールアウトに向けて、課題解決学習の全国大会(マイプロジェクト甲子園)を開催し全国規模で価値の共有に向けた取り組みを展開するとともに、

多様性ある学びの場の創出(越境留学の推進)のニーズ調査及びマーケティング戦略の立案・  
広報施策の準備が完了することができた。

5.成功したこととその要因:

- ・島根県及び海士町をはじめとした行政との信頼関係及び強力な協働体制の構築
- ・企業経営者等民間セクター、NPO等の市民セクター、国・県・市町村の行政セクター、大学等の研究セクターなど多様なセクターの人間との本気の対話とチーム作り
- ・「外」から、「上」からの改革議論ではなく、「内」から「現場」からの視点の尊重

6.失敗したこととその要因:

- ・特になし

7.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案:

県レベルでのシステム構築に向けて、島根県の各市町村の状態把握、伴走型の支援に弊団体の多くの人的リソースを割いたが、今後の本格的な全国へのスケールアウトに向けて、限られた人的リソースの中で、異なるアプローチを取る必要がある。次年度は、全国の共学共創のコミュニティを確立することで、島根県の実践事例を活かしつつ、参画している他県、市町村どうしが横でつながり合うことで、お互い刺激し合い、高め合える状態を創っていきたい。

事業成果物:

【成果物の名称】

- ・「人」でつくる持続可能な社会～学校魅力化による地域創生～ビジョンムービー  
<https://www.youtube.com/watch?v=yoUotXrzeaA>
- ・「意志ある18歳」しまね留学成長ムービー  
[https://www.youtube.com/watch?v=UARlrvaL\\_IQ&t=24s](https://www.youtube.com/watch?v=UARlrvaL_IQ&t=24s)
- ・地域・教育魅力化プラットフォームポータルサイト  
<http://c-platform.or.jp/>
- ・教育魅力化チーム推進プログラム 最終セッションパンフレット 300部



- ・越境留学(地域みらい留学)特設サイト

<http://c-mirai.jp/>

- ・越境留学(地域みらい留学)ポスター5000部



- ・越境留学(地域みらい留学)チラシ30万部



- ・【地域みらい留学】2分で魅力がわかる！紹介動画(沖縄県立久米島高校編)

<https://www.youtube.com/watch?v=zhAi8qrbZCc>

- ・【地域みらい留学】2分で魅力がわかる！紹介動画(島根県立津和野高校編)

<https://www.youtube.com/watch?v=AuApBW09vKo&t=3s>

・学校と地域をつなぐパターン・ランゲージ—社会に開かれた学校をつくる旅—300部

